

# 70代 男性Bさん

## 医学的情報

- 診断名：胸椎黄色韧带骨化症術後（胸髓麻痺）
- 術式式：胸椎椎弓切除術  
Th2-3 lamineotomy  
Th11 lamiceotomy  
Th12 partial lamineotomy
- 合併症：胸椎脊髓症、胸椎前十韧带骨化症  
变形性頸椎症

・ 氏名：B氏      性別：男性      年齢：70代

・ 主訴

本人：早く歩けるようになって家に帰りたい。

妻：しっかりリハビリをして歩けるようになって  
帰ってきて欲しい。腰痛持ちで体調も悪い為  
本人の介助は難しい。排泄後の後処理や  
Pトイレの自宅での使用は好きではない。  
自分である程度行える様になって帰ってきて欲しい。

## 他部門情報

- ・主治医

今後の方針は、**自宅復帰**を予定。

**自宅復帰が困難であれば**

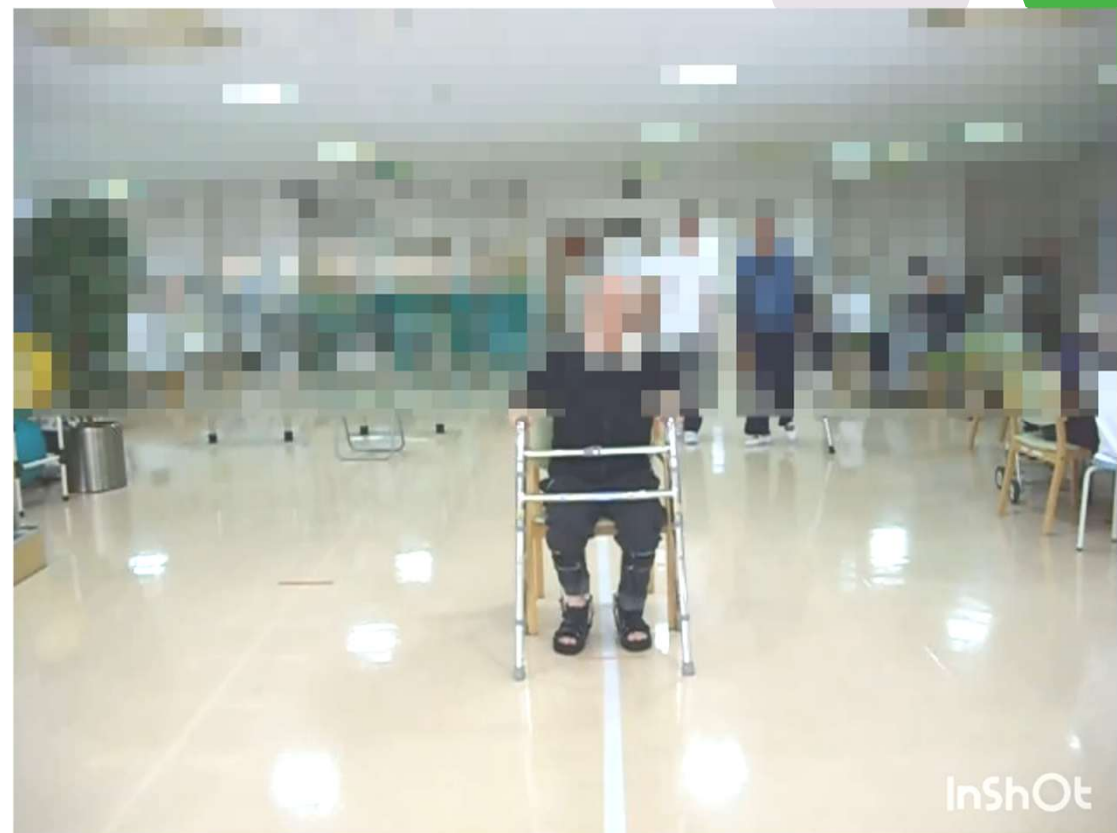
**療養病院への転院等を検討。**

装具完成 2012/10/23 (74病日目)

- ・ 金属支柱付き短下肢装具
- ・ 膝装具 : 特注

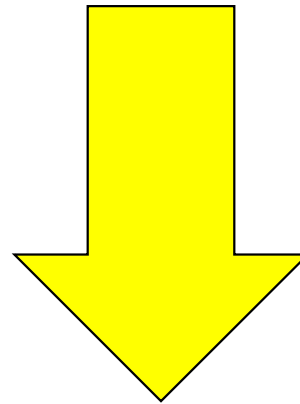
# 歩行動作

2012/11/21 (103病日目)



ピックアップウォーカー歩行が可能になり  
在宅復帰が視野に！

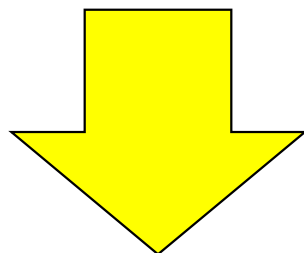
もう一つ  
上の段階を



目標を修正

装具を外した状態で自宅内杖歩行自立  
屋外シルバーカー歩行見守り

平行棒内を装具を外した状態で伝い歩き～独歩  
及び病院敷地内でのシルバーカー歩行が可能に。  
病棟内も杖歩行自立となった。



自宅内伝い歩き～独歩自立レベル  
近隣移動程度のシルバーカー歩行自立レベル

**目標達成**

良くしてもらったから

退院したら

ここに外来で通院したい！

# そのためには？

ご自宅から**地下鉄とバス**を  
乗り継いで来る必要がある

## 課題

- ・ 往復の移動＋外来リハを受ける**体力は？**
- ・ **複雑な行程**を**リスク管理**と  
**適切な判断**をしながら**安全に往来**できるか？

基礎体力強化と実践訓練によって

自宅と病院間の往来がシルバーカー歩行で可能となる。

退院までの残りの期間、外来リハでの次の目標となる屋外杖歩行自立と、ご自宅での日常生活を余裕をもって送れるよう、土台(予備力)をしっかりと整えて頂き、2013年4月から外来へ引き継いだ。



その患者さんは

12年(2025年時点)経過した現在も

杖歩行で外来通院しています。